



川崎重工とは その2 どんな会社なのか ～みんなに石綿被害を伝えて！

要求書

2017年12月20日

川崎重工業（株） 代表取締役社長 金花 芳則 様

アスベスト労災損害裁判原告

吉田操子、保久裕子

中皮腫・アスベスト疾患 患者と家族の会 ひょうご、尼崎支部

中田有子、平田忠男

ひょうご労働安全衛生センター、尼崎労働安全衛生センター

小西達也、松原 一

(連絡先 飯田 浩 06-4950-6653)

記

2017年8月4日付書面で今後については、「当社認識に疑義がある場合は、当社代理人を通じて書面にて通知くださいますよう」との回答をいただきました。

私たちは、元々いたずらに事を長引かせようという考えもなく、このように一方的にこれまでの話し合いの打ち切りを通知されたことに、大変腹立たしく、また残念に思っております。

川崎重工業（造船、車輻）のこれまでのアスベスト使用状況・被害者数と、病気発症までの潜伏期間を考えますと、今後もアスベスト被害が出てくることは避けられません。

この病気発症をできるだけ早い段階で発見して、治療の手が加えられるよう努力することが大切と考えます。このことは加害者である貴社の責務であり、また私たちの原告遺族の特に切望してきたところです。

潜伏期間の長いアスベスト疾病の特性を考えると、高齢化と共に発症する傾向が強まるので、当然退職者OBの発症リスクが高くなります。会社は「ホームページにおいて広く石綿健康被害の相談を受け付ける」とされていますが、これでは不十分です。中途も含めた退職者のうち、どれだけの人がホームページを閲覧されているのでしょうか。また、10年前に一度実施された個別通知によってどれだけの人に伝わっているのでしょうか。退職者のかなりの方が会社の「石綿健康診断」を知らず、受診もできていないのではないのですか。健康管理手帳の交付されている人の中からだけ被害者が出るということではないのです。

従って、昭和56年（1981年）以前の退職者にもさかのぼって、郵便による個別通知、そして紹介させていただいた旧国鉄の例などを参考に新聞広告を出すことを改めて強く要求します。（石綿検診や精密検査受診の際の、交通費も含めた会社による全額費用負担は当然のこと、退職者本人の希望する石綿検診の可能な医療機関での受診が前提となります。）

そもそもこれまでに、貴社の個別通知・ホームページによってどれだけの退職者が石綿健康診断を受診され、そのうちどれだけの人に石綿関連疾患（疑い含む）の所見が見つかったのか等についても、一方的に話し合いを打ち切るのではなく、引き続き直接のやり取りの場を持ち文書回答をいただき、その上で今回の話し合いを終えていきたいと考えています。貴社の再考を強く促すものです。

以上

昨年一二月二〇日、私たち安全センターと患者と家族の会一人は午後四時にJR 神戸駅に集合し、川崎重工の神戸工場門前に行きました。

あらかじめ連絡してあったにも関わらず、門前にはいつもより多くの守衛さんたちが並び、理由も告げずとにかく中へ入れないし、

担当者にもつないでくれません。始めは何かの勘違いかと思いましたが、いつまでももちが明かないのでようやくこちらから会社への予定した対応と悟り、やむなくその日は門前ビラまき活動をして、翌日改めて「要求書」を速達で送りましたが、これも見事に受け取り拒否の張り紙をつけて返されてしま

救われません。



安全センター

[発行]

尼崎労働安全衛生センター

[連絡先]

〒660-0802

尼崎市長洲中通 1-7-6

TEL・FAX 06-4950-6653

安全と衛生の講演会

「産業医制度の活用のしかた」

月 日: 2018年3月28日(水)

時 間: 18:00~20:00

場 所: 中小企業センター402

★無料、どなたでも参加可能

退職者にもつと個別通知を

要求書の内容は一点だけで、と

いました。（裏面）それでまたFaxで送ったのですが、これについては届いたとも受け取ったとも、廃棄したとも返事がありません。

確かに今回の交渉経過で、ホームページでの労災認定業務例の紹介や、安全衛生委員会でのアスベスト被害者・職業性疾病の報告の約束、会社研修施設の年表へのアスベスト被災状況の追記など、前進面もありました。会社の礎を築

いてきた幾多の先輩のなかまたちが、石綿疾患による多大な犠牲を被ったのです。後輩の労働者と労働組合が大声でこうした要求を実行に移さなければ、被害者は決して浮かばれません。

厚生労働省 副業・兼業容認に転換の狙いは

厚生労働省が、労働者の副業を認めるという話です。たいがいの会社は「労働者は許可なく他の会社等の業務に従事しないこと」として、就業規則で定め、実際に認めていません。

しかし、今の会社に籍を置きながら、他の会社で新しい技術を身につけたり、収入を少しでも増やせるという意見もあります。デイサービスで働いている人が終わってから近くの駅前の居酒屋で働いていたなんてことも良く聞く話です。始めの職場から次の職場へ行く間に事故にあえば通勤災害になります。

副業先で残業はつづけるのか

しかし、考えてみると労働時間

はほとんど伸びていきます。就業規則を「労働者は会社に届出をして、勤務時間外において、他の会社等の業務に従事することができ」として、朝から深夜まで働いたらどうなるのでしょうか。八時間労働の規定は、何よりも、労働者の健康で文化的な生活の確保のためには必要です。労働基準法三条では、「労働時間は、事業場を異にする場合においても、労働時間に関する規定の適用については通算する」と決められており、さっきの例では、通算八時間を超せば居酒屋は残業手当を出して働いてもらうことに、法律ではなっているのです！

副業を勧める会社とは？

労働組合は絶対に働かせすぎて病気になるたり、倒れたりするなまを作り出してはいけません。会社側が、副業しろ副業しろと積極的に言ってくるような場合は、い

よいよ用心が肝腎です。副業の職場で労災にあつて1日働けなくなつても、労災補償はそこでの分の8割だけというようなことにもなつてしまいます。他にも社会保険

料の負担問題などもあります。労働者が不利になるような“働かせ方改革”を、素直に認める必要はまったくありません。

タミフルが外された

インフルエンザが大はやりで、そのため安全センターの定例交流会に出てこれなかった人もありました。さて、ついこの間までタミフルで直さないと、タミフルを備蓄しないと大騒ぎしたのが、今では「大人で症状のある期間を約1日短縮するだけ」とは、あまりにつれない。WHOの必須医薬品リスト「中核薬」からも外されてしまいました。

それによって今度は塩野義製薬の「ゾフルーザ」が広く使われることになりそう。ゾフルーザは、1日2回、5日間服用のタミフルに比べて1回だけの服用でよく、細胞内でウイルス自体の増殖を抑制、他人への感染リスクも減ると報道されています。

予防は換気とミカン？

それにしても厄介なインフルエンザ、『労働者住民医療』324号に東京練馬区の特別養護老人ホームで51人が感染し2人が亡くなったという報告が載せられていました。それによると80人の入所者のうち78人に今年のタイプにうまく合ったワクチンの予防接種をしており、タミフルの予防的投与（投げ与える？）も行ったということです。

練馬区議の池尻成二さんは「そもそも、手洗いやマスク、保湿や栄養管理、適切な発症者の隔離

■必須医薬品リストでタミフル格下げ

抗インフルエンザ薬のタミフルが、6月に公表された世界保健機関（WHO）の新しい「必須医薬品」リストで「保健システムに最低限必要な薬」から「補足的な薬」に格下げされたと英医学誌BMJが報じた。同誌によると、タミフルは2009年にリスト入りした。その後、大人で症状のある期間を約1日短縮するだけで、入院や合併症を減らす効果はないとの研究が発表されるなど、以前考えられていたよりも効果は限定的との報告が出たため格下げになったという。リストを検討したWHOの専門家委員会は「タミフルの使用は、入院患者が重症となっている場合に限るべきだ」と指摘した。

2017.7.13 神戸新聞

確保などの基本的な感染予防対策が徹底されていれば、いくらなんでもこんな大量感染は起こらなかったのではないかと書かれています。以前に、ある特養ホームでうちの予防対策は寒くても朝は窓を開け放ってまず換気を良くすることと、机の上に黄色いミカンを一杯出しておくことだと言っておられたのを思い出しました。

尼崎のそれぞれの職場の食堂にミカンの山はあるのかな？

冬は風呂場も要注意

冬場のインフルエンザも大変ですが、家の風呂場も厄介。毎年約5000人がおぼれ死んでいます。（65歳以上が9割）溺死だけでなく心筋梗塞や脳卒中での死亡も含めると年間2万人近くになるということです。高齢者の雇用継続が広がっています。あなたの工場のお風呂に問題はないですか。